

# FDG PET-CT 検査に関する説明書

**重要！以下の項目を必ずお読みください。**

- ◆検査当日は、金属がついていない服装、あるいは着替えのしやすい服装でお越しください。
- ◆PET 注射薬は動かした筋肉に取り込まれます。診断の妨げを防ぐために、検査前日から検査終了までは体の負担になる運動（ジョギング等）や作業、ガムを噛むなどは控えてください。
- ◆検査の 6 時間前から絶食 してください。  
味付けのされていない水、許可された薬以外のものは全て禁止となります。
- ◆糖尿病で薬物治療をされている場合は、絶食している間、糖尿病薬を中止します。
- ◆他院からの内服薬がある場合は、検査時にお薬手帳をご持参ください。

## 1. 安全性と危険性

- ◆PET 注射薬でアレルギー反応などの副作用がおきる可能性はほとんどありません。
- ◆この検査では PET 注射薬・CT による放射線被ばくがありますが、1 回の PET-CT 検査における被ばく量は 10mSv 程度です。これは通常の CT 検査とほぼ同等で、この被ばくによる放射線障害はありません。
- ◆注射時の針の痛み、薬品注入時の血管運動反射に伴う一時的な気分不快、血圧低下、神経障害が稀に起こることがあります。

## 2. その他

- ◆検査料金は 3 割負担で 30,000 円程度です。  
PET 注射薬は検査前から準備しているため、急なキャンセルや予約時間に遅れて検査が行えない場合、薬剤費 45,000 円を頂く場合があります。
- ◆予期せぬ装置のトラブル等により、検査日時を変更する場合があります。
- ◆PET 検査は、通常医療保険が適用されますが、病状によって適用が難しい場合、自費での検査となる場合があります。
- ◆この検査は優れた診断能を有することが知られていますが、病気の種類・大きさ・部位・性質、高血糖などの影響から、診断能には限界があります。
- ◆今後の医療の進歩のため、PET 検査結果の学会・講演会・論文などへの使用に同意をお願いしております。個人を特定できないよう管理しますので個人情報を守られます。また、ご同意頂けない場合も不利益を受けることはありません。